

祝 大島大橋開通50周年



50th Anniversary
開通50周年
大島大橋

大島大橋のあゆみ

昭和38年	2月5日	「大島瀬戸架橋期成同盟会」結成
昭和41年	8月10日	大島架橋基礎地質調査実施
昭和42年	11月10日	「大島瀬戸架橋期成同盟会」を 「大島大橋建設促進期成同盟会」と改称
昭和44年	1月14日	日本道路公団新規有料道路事業実施決定
昭和45年	9月11日	ボーリング調査始まる
昭和46年	3月9日	山口県議会「有料道路大島大橋」 建設同意議案 全会一致で可決
昭和49年	8月2日	起工式挙行
昭和50年	12月30日	橋梁下部工工事完了
		トラス橋体組立て始まる
昭和51年	5月30日	海上クレーン船（武蔵）により 大島側側径間部の橋体輸送
昭和52年	5月31日	架設（午後0時8分据付完了）
昭和53年	6月2日	本土側側径間部の橋体輸送
昭和54年	6月3日	架設（午後3時据付完了）
昭和55年	10月4日	中央側間部の橋体ドッキング （閉合に黄金ボルト2本使用）
昭和56年	7月4日	開通式 供用開始午後6時
昭和62年	6月1日	日本道路公団から山口県道路公社へ移管
平成8年	6月11日	大島大橋開通10周年、山口県道路公社移管 記念式典開催
平成30年	10月22日	大島大橋有料道路の通行料金無料化
令和8年	7月4日	外国船籍貨物船大島大橋衝突事故発生 大島大橋開通50周年記念式典開催

写真…株式会社矢野テント



▲大島大橋開通のテープカット



▲海上輸送



▲工事中の基礎

大島大橋開通50周年 記念式典を開催

大島大橋開通50周年を記念した式典が、大島文化センターで開催され、約450人の来場がありました。式典では最初に、50年の歴史を振り返るDVDの上映があり、橋の開通当時を知る人や、今の橋しか知らず初めて見る人など、鑑賞される皆さんの表情には、それぞれの思いが溢れていました。さらに、作文発表や絵はがきコンクールの表彰も行われ、過去への感謝、そして未来への希望を感じ、改めて大島大橋の大切さを感じる特別な場となりました。

式典の最後には、子どもたちによるフラダンスも披露され、華やかな姿が式典を彩りました。



▶作文発表を行った周防大島中学校3年太田音和さん⑥と大島中学校3年芝山稀音さん⑥



大島大橋開通50周年を迎えて

周防大島町長 藤本 淨孝

このたび、大島大橋が昭和51年の開通から50周年を迎えました。7月4日の開通50周年式典におきましては多くの皆さまの応援と関心を寄せていただきまして、改めて皆さまに衷心より御礼申し上げます。

を成し遂げたのです。今、私たちはその先人の思い、熱量に目を向け、学ぶべきだと思います。この際、橋の恩恵と橋を守る気持ちを寄せ合い、橋によって満ちている私たちの生活に感謝し、誇りを胸に新たな島づくりを実現して参りましょう。

大島大橋は50年の長きにわたり、私たちの生活に彩りを与えてくれています。本土との往来が可能となり島内の道路網も充実し、物流の不便も無く、水道も不安なく供給され、医療も充実し救急も利用できます。離島の生活とは思えない利便性と快適性を享受しています。通行無料化の実現、外国船衝突事故も乗り越え大島大橋はその美しい姿を保ち続けています。

これからも大切な命綱である橋を大切に、町の防災計画をはじめ地域課題も見直す機運につなげていきたいと考えております。

当たり前のように利用している大島大橋ですが、その架橋に取り組んだ先人の皆さんは、離島である不便や困難に直面し、離島からの脱却を夢見て命懸けで、心を一つにしながらか架橋という偉業

これから美しい橋と共に活気ある町づくりに尽力して参ります。

